
迷宮には探偵が

霜月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

迷宮には探偵が

【Nコード】

N0722Z

【作者名】

霜月

【あらすじ】

高校一年生の11月^{ストウ}須藤^{リオ}璃桜は親友の死をきかっけに廃墟と化したカフェ・ラビリンスの店員兼探偵事務所・ラビリンスの探偵^{リンド}林^{エイジ}道^ウ瑛士に出会う。

瑛士の手伝いをするようになった璃桜はラビリンスに飛び込んでくる難事件を何とか解決していく!!

prologue ゴミ箱の中のキオク (前書き)

えっと、初めてなので上手じゃないし読みにくいかもしれませんがどうか最後までお付き合いください!!

prologue 〈ゴミ箱の中のキオク〉

あの人はいつも笑っていた。

俺はあの人の笑顔が大好きになった。

あの人が大好きになった。

「大切だ」と思った。

「守りたい」と思った。

そして、また期待した

「あの人なら俺をもう独りにしないでくれるんじゃないか」と

でも、それはただの淡い妄想でしかなかった。

土砂降りの雨の日だった。

拳銃の銃口から放たれた弾丸は

あの人の心臓を貫き

俺の妄想をかき消した。

簡単に俺の心はまた壊れた。

ホントの母さんが居なくなっって、やっと人が信じられたのに

運命ってのは思ってたよりも綺麗じゃなくて、

残酷だった。

冷たい雨が体を濡らし、

真実を洗い流した日、

あの人は、俺を育ててくれた母さんは死んだ。

俺が…殺した。

p r o l o g u e ゴミ箱の中のキオク (後書き)

読んでくれてありがとうございます！

次回からは謎解きがあります。

どうぞ期待！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0722z/>

迷宮には探偵が

2011年12月2日20時56分発行